

箕面市障害者事業団 ニュース

令和5年(2023年)1月

新年のごあいさつ

先日、障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度（もにす認定制度）に本事業団が認定され認定書を授与されました！

「もにす認定制度」とは、障害者の雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度です。令和5(2023)年度から箕面市環境クリーンセンターでの新規事業の開始に向けた準備を進める中での認定ということで、今後も「障害者の働く場づくり」の取り組みを通して、障害者の直接雇用を継続していきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



(写真、認定書を受け取る高橋常務理事)

この1年（令和4年）のトピックス

1. 喫茶るうぷライフプラザ店にご寄付をいただきました (P.2)

いただいたご寄付の活用について紹介します。

2. 職員が永年勤続障害者表彰を受けました (P.2)

3. こよせんでの新たな試み (P.3)

4. 「働く場」の1年 (P.3)

5. コロナ禍での相談支援 (P.4)

6. 講演依頼、お待ちしております！ (P.4)

啓発担当の高田浩志職員の活動について、一句添えて。



箕面市障害者事業団 令和4

この1年、障害者事業団であった様々な出来事や取り組みについて、各部署からご紹介させていただきます。

喫茶るうぷライフプラザ店に

ご寄付をいただきました

この度、木口千代子様より「喫茶るうぷライフプラザ店で活用してほしい」と、本事業団に50万円のご寄付をいただきました。平成8年に「みのおライフプラザ」のオープン当初から「喫茶るうぷライフプラザ店」を運営して26年、老朽化していた厨房機器（コンロ、冷



凍庫、トースター)の更新に活用させていただきました。「コンロが大きくなって使いにくい」「新たな気持ちで調理ができる」など、スタッフ一同とても感謝しています。本当にありがとうございました。

これからもお客様へのきめ細やかな接客を大切に、おいしい料理の提供やお客様に落ち着いて過ごしていただける環境づくりなど、引き続き取り組んでいきます。



職員が永年勤続障害者表彰を受けました



大阪労働局と(一社)大阪府雇用開発協会主催する表彰式で、勤続25年以上の「永年勤続障害者」として、職員1名が表彰されました。

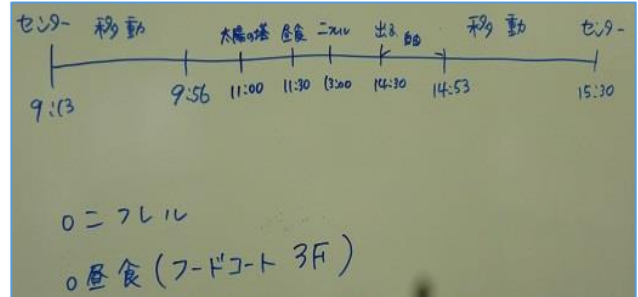
表彰式当日に向け、ご家族とスーツを新調したり、グループホームの支援員と前日に散髪に行ったりと準備しました。

採用当時とは体調や生活環境が変化し、サポートいただく関係機関が徐々に増えていますが、これからも多くの方に応援いただきながら、定年まで一緒に歩めればと願っています。

年(2022年)の取り組み色々

こよせんでの新たな試み

令和4年は新たな取り組み『訓練生が考え・決める外出プログラム』を実施しました。



事前アンケートで決まった『ニフレル』『海遊館』と目的地ごとにグループを分け、公共交通機関の利用ルートや現地での行動

プランを立てました。文書を書くのは苦手でもスマホで調べることは得意な方、前に立って進行するのは苦手でもいろいろな意見を出してくれる方など、それぞれの「強み」を活かし、話し合いを進めていきました。

自分たちで決めた外出プログラムということもあり、皆さんタイムスケジュールが頭に入っており、楽しんで過ごしていました。

これからも普段のトレーニングに加えて、新しい試みなどで「楽しい」を織り交ぜつつ、たくさんの経験を積んでもらえるよう工夫していきます。



「働く場」の1年

事業団では、公園花壇やみのおライフプラの植栽管理、箕面市内公共施設の資源ごみ回収、箕面市立リサイクルセンターでのかん・びん選別、喫茶するうぶの運営、ブログを主にした啓発活動など、「働く場」で12名の障害者職員が活躍しています。

新型コロナウイルスの流行初期は、各公共施設の休館や来店客減少に伴う喫茶店の休業、いわゆる「巣ごもり消費」に起因するかん・びん収集量の大幅な増加など、事業団も多くの影響を受けました。目に見えないウイルスへの感染予防対策は、障害者職員に浸透するまで一定時間を要しましたが、現在はみなで徹底して日々業務にあたっています。

今後もその時々状況に対応しながら、障害者職員中心に歩んでいきます。



(写真、毎年恒例の葉牡丹アート)

コロナ禍での相談支援

世間では今もコロナ関連の話題が多く取り上げられていますが、そんな中での相談支援について振返ります。

「豊能北障害者就業・生活支援センター」では、働いている人・働きたい人に加え、障害者を雇用する企業等の相談支援を行っています。コロナ禍で企業訪問が制限され、求人数も少なく、支援の希望があっても思うような対応ができない状態がしばらく続きました。現在は、感染予防対策を継続しながら、今まで縮小していた取り組みに加え、Webを活用したイベントを開催するなど、試行錯誤しながら支援活動を再開しているところです。

計画相談を実施する「相談るうぷ」では、徐々に活動を再開する利用者が増える一方で、基礎疾患等の影響から、サービス利用を躊躇している利用者もいます。これまでの活動が心と体の健やかさを保つことに繋がっていることを、改めて感じる年となりました。

コロナ禍以前のように活動が再開できるよう、一日も早い収束を願うばかりです。

講演依頼、お待ちしております！

11月21日、日本労働ペンクラブ関西支部からの見学者7名に高田職員から事業団の説明を行いました。今回は、普段の原稿に大腸がんの経過を追記し臨みました。質問では、夢や趣味などの話題で盛り上がりました。高田職員の入職当時を知る参加者からは、いきいきと働く姿をみて、本人とサポート職員のがんばりを評価いただきました。



“ 車椅子 導けるかに 初明り ” (高田 浩志)

あとがき

冒頭で触れたとおり、令和5年度から新規事業を実施するための事前準備に日々追われている編者です。来年の今ごろは新たな仲間の活躍をご紹介できることを楽しみに、この1年、しっかりと取り組んでいきます。

箕面市障害者事業団 ニュース 令和5年(2023年)1月

発行：一般財団法人 箕面市障害者事業団

〒562-0015 大阪府箕面市稲一丁目11番2号 ふれあい就労支援センター4階
電話 072-723-1210 FAX 072-724-3383 Email info@minoh-loop.net